

トイレの掃除用具制作・中庭の溝埋め 平行定規の修繕・電話コード BOX 制作

【建設工学科3年 黒川宗真・吉田真那飛】

1 はじめに

課題研究のテーマを“より良い日常生活を送るために”をテーマとした、校内の道具修理・制作、破損箇所の修理などを行った。一年生の時に使用する平行定規の修理やトイレの掃除用具を制作する事で自分たちは勿論、これから入学して来る後輩の為になると考え課題研究に取り組みました。

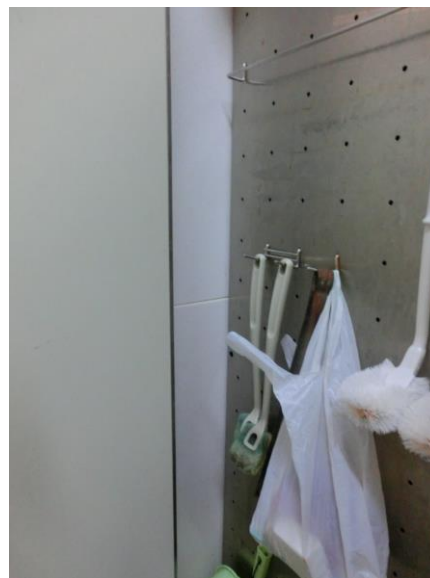
2 概要

自分たちが課題研究作品を何にするかを考えていたときに、校内の破損や“こうした方が過ごしやすい”という箇所が目立ち今回の課題研究に至りました。

3 調査・検討

1) 進路指導室前のトイレ掃除用具入れの制作

進路指導室前トイレの掃除用具入れは奥行きが無く狭いため、モップやホウキがぐちゃぐちゃに置かれていました。



2) 中庭水路の改修

- ①中庭に水を流すための溝が設けられていた、しかし溝との段差があり危険だった。
- ②排水として機能しておらずゴミなどが溜まるので溝を埋めようと考えました。

3) 2階製図室の製図板修理

一年生の時に使用する製図室には、破損したままの平行定規があり、中には修理をすればまだ使える物もあったため修理に取り組んだ。

4) 2階製図室の電話ボックス制作

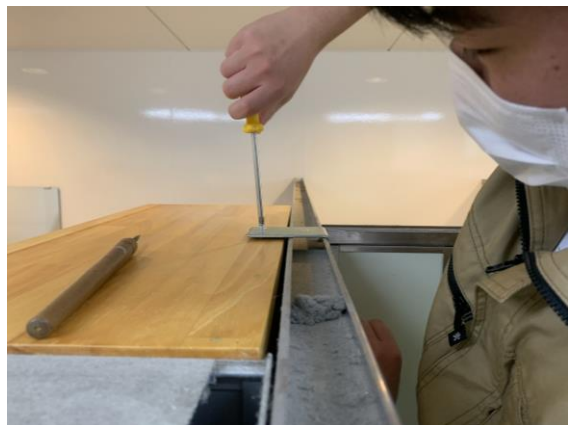
電話コードが剥き出しに置かれていたのでコードを収納するために電話ボックスの制作を決めた。

4 修理・制作

1) 掃除用具入れの制作

- ①トイレの壁の高さ、道具の大きさなどをひとつひとつ測り、大きさが合うように設計をした。

- ②木材をカットするにあたってパネルソー
と言う機械を使用した。少しでも大きさを
間違えると材料が使用できなくなるので
細心の注意を払った。
- ②組み立て時には釘の大きさや飛び出しに
気を付けて組み立てをした。
- ③木材の色、木目を際立たせるためにニス
を塗装した。
- ④扉には緑、黄緑を使用した。
- ⑤扉の設置では用具入れが倒れるのを防ぐ
ために、壁に固定した。



2) 平行定規の修理

- ①始めに全員で破損した台を確認しました。
- ②次にそのまま修理できるものと部品交換が必要なもの、破損がひどいものを選別しました
- ③破損がひどい平行定規を解体し、解体し平行定規の構造も知ることができた。
- ④解体で出た部品を他の破損部品の代替として再生し使用出来るように修理した。



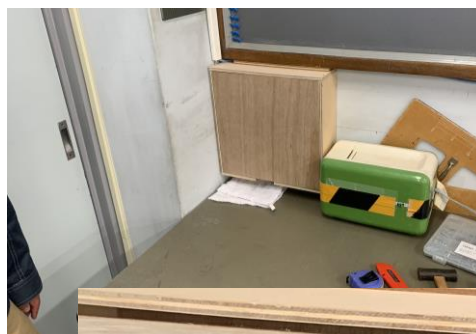
3) 中庭の溝埋め

- ①排水溝として機能しておらず、ゴミが溜まっていく一方だった。
- ②中庭に溝があり躓いたりしないように溝にセメントを入れて溝を埋めた。



4) 電話ボックスの制作

- ①普段使用しない電話コードを収納するための箱を制作した。
- ②設置後にひと工夫として電話ボックス内に釘を打ち、コードを引っ掛ける事で取り出しやすくなるように工夫をした。





すい」や「片付けが楽になった」という声を聞くことができ、自分たちのテーマだった『すごしやすい大工』を達成する事ができたと思います。今回の課題研究でやった事は自分たちの大きな財産になると思います。また、これまでの活動を通して仲間との意見交流や話し合いなども社会に出て必要な力になって来るのでとても良い経験ができたと思いました。

7 反省

仲間の中で、意見の出し合いや話し合いも行われたが意見がまとまらない事も何度もあった。他にも他人任せになりがちな所があったのはいけないので、自分のことはしっかり管理をしなければならない。

8 まとめ

自分たちは、大工をより良くすることを目的として、課題研究に取り組んできました。二階製図室やトイレの掃除用具入れなどは、これから入って来る後輩の為になると思い使いやすさや、もう一度使えるように修理しました。班員一人一人が役割を分担し効率よく丁寧な仕事ができたと実感できました。

9 感想

今回の課題研究では、制作する時も修理する時も、物の構造やどうやって組み立てるかなどを班員と考え意見を出し合いながら課題研究を進めてきました。特に掃除用具が完成し設置した時は達成感がありとても感動しました。設置中には数人の生徒が来て、「凄い」など言ってくれました。同じクラスの生徒が進路指導室前のトイレ掃除担当で、使い心地を聞いたところ「使いや

